

改正後	改正前																												
<p>直交集成板についての取扱業者の認証の技術的基準</p> <p>1 適用範囲 この基準は、登録認証機関及び登録外国認証機関が日本農林規格等に関する法律（昭和 25 年法律第 175 号）第 10 条第 1 項の規定及び同法第 30 条第 1 項の規定に基づき行う直交集成板についての取扱業者及び外国取扱業者の認証の技術的基準を規定する。</p> <p>2 製造業者（外国製造業者を含む。以下同じ）の認証の技術的基準</p> <p>2.1 最終製品における検査によって格付を行う場合</p> <p>2.1.1 製造又は加工、保管、品質管理及び格付のための施設</p> <p>2.1.1.1 製造施設</p> <p>2.1.1.1.1 作業場 諸設備を収容し、かつ、作業を行うのに支障のない広さ及び明るさでなければならない。</p> <p>2.1.1.1.2 人工乾燥室（人工乾燥を行う場合に限る。） 荷口ごとに均一に乾燥できる設備でなければならない。</p> <p>2.1.1.1.3 機械器具 <u>表 1</u>の左欄に掲げる機械器具（安定した能力を有し、連続した生産が可能であり、かつ、それぞれ同表の右欄に掲げる条件に適合しているものに限る。）を備えていなければならない。</p> <p style="text-align: center;">表 1－直交集成板の製造に必要な機械器具</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">機械器具</th> <th style="text-align: center;">条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>横切機械（横切をする場合に限る。）</td> <td>ラミナの繊維方向に直交して、正しく切断できるものであること。</td> </tr> <tr> <td>縦切機械（縦切をする場合に限る。）</td> <td>ラミナの繊維方向に平行して、正しく切断できるものであること。</td> </tr> <tr> <td>自動かん盤（表面を切削する場合に限る。）</td> <td>自動送りかん盤機械であって、ラミナの表面を平滑に切削できるものであること。</td> </tr> <tr> <td>等級区分機（等級区分機によってラミナの曲げヤング係数を測定する場合に限る。）</td> <td>ラミナの曲げヤング係数を測定することによって、これを選別できるものであること。</td> </tr> <tr> <td>接合装置（ひき板及び小角材の長さ方向の接合部を平滑に切削し、接着剤を用いる場合に限る。）</td> <td>ひき板及び小角材の長さ方向の接合部を平滑に切削し、接着剤を用いて、相互に正しく接着できるものであること。</td> </tr> <tr> <td>接着剤塗布装置</td> <td>接着剤を均一に塗布できるものであること。</td> </tr> </tbody> </table>	機械器具	条件	横切機械（横切をする場合に限る。）	ラミナの繊維方向に直交して、正しく切断できるものであること。	縦切機械（縦切をする場合に限る。）	ラミナの繊維方向に平行して、正しく切断できるものであること。	自動かん盤（表面を切削する場合に限る。）	自動送りかん盤機械であって、ラミナの表面を平滑に切削できるものであること。	等級区分機（等級区分機によってラミナの曲げヤング係数を測定する場合に限る。）	ラミナの曲げヤング係数を測定することによって、これを選別できるものであること。	接合装置（ひき板及び小角材の長さ方向の接合部を平滑に切削し、接着剤を用いる場合に限る。）	ひき板及び小角材の長さ方向の接合部を平滑に切削し、接着剤を用いて、相互に正しく接着できるものであること。	接着剤塗布装置	接着剤を均一に塗布できるものであること。	<p>直交集成板についての取扱業者の認証の技術的基準</p> <p>（新設）</p> <p>第一 製造業者（外国製造業者を含む。以下同じ。）の認証の技術的基準</p> <p>一 製造又は加工、保管、品質管理及び格付のための施設</p> <p>1 製造施設</p> <p>(1) 作業場 諸設備を収容し、かつ、作業を行うのに支障のない広さ及び明るさであること。</p> <p>(2) 人工乾燥室（人工乾燥を行う場合に限る。） 荷口ごとに均一に乾燥できる設備であること。</p> <p>(3) 機械器具 次の表の左欄に掲げる機械器具（安定した能力を有し、連続した生産が可能であり、かつ、それぞれ同表の右欄に掲げる条件に適合しているものに限る。）を備えていること。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">機 械 器 具</th> <th style="text-align: center;">条 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>横切機械（横切をする場合に限る。）</td> <td>ラミナの繊維方向に直交して、正しく切断できるものであること。</td> </tr> <tr> <td>縦切機械（縦切をする場合に限る。）</td> <td>ラミナの繊維方向に平行して、正しく切断できるものであること。</td> </tr> <tr> <td>自動かん盤（表面を切削する場合に限る。）</td> <td>自動送りかん盤機械であって、ラミナの表面を平滑に切削できるものであること。</td> </tr> <tr> <td>等級区分機（等級区分機によってラミナの曲げヤング係数を測定する場合に限る。）</td> <td>ラミナの曲げヤング係数を測定することによって、これを選別できるものであること。</td> </tr> <tr> <td>接合装置（ひき板及び小角材の長さ方向の接合部を平滑に切削し、接着剤を用いる場合に限る。）</td> <td>ひき板及び小角材の長さ方向の接合部を平滑に切削し、接着剤を用いて、相互に正しく接着できるものであること。</td> </tr> <tr> <td>接着剤塗布装置</td> <td>接着剤を均一に塗布できるものであること。</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 器 具	条 件	横切機械（横切をする場合に限る。）	ラミナの繊維方向に直交して、正しく切断できるものであること。	縦切機械（縦切をする場合に限る。）	ラミナの繊維方向に平行して、正しく切断できるものであること。	自動かん盤（表面を切削する場合に限る。）	自動送りかん盤機械であって、ラミナの表面を平滑に切削できるものであること。	等級区分機（等級区分機によってラミナの曲げヤング係数を測定する場合に限る。）	ラミナの曲げヤング係数を測定することによって、これを選別できるものであること。	接合装置（ひき板及び小角材の長さ方向の接合部を平滑に切削し、接着剤を用いる場合に限る。）	ひき板及び小角材の長さ方向の接合部を平滑に切削し、接着剤を用いて、相互に正しく接着できるものであること。	接着剤塗布装置	接着剤を均一に塗布できるものであること。
機械器具	条件																												
横切機械（横切をする場合に限る。）	ラミナの繊維方向に直交して、正しく切断できるものであること。																												
縦切機械（縦切をする場合に限る。）	ラミナの繊維方向に平行して、正しく切断できるものであること。																												
自動かん盤（表面を切削する場合に限る。）	自動送りかん盤機械であって、ラミナの表面を平滑に切削できるものであること。																												
等級区分機（等級区分機によってラミナの曲げヤング係数を測定する場合に限る。）	ラミナの曲げヤング係数を測定することによって、これを選別できるものであること。																												
接合装置（ひき板及び小角材の長さ方向の接合部を平滑に切削し、接着剤を用いる場合に限る。）	ひき板及び小角材の長さ方向の接合部を平滑に切削し、接着剤を用いて、相互に正しく接着できるものであること。																												
接着剤塗布装置	接着剤を均一に塗布できるものであること。																												
機 械 器 具	条 件																												
横切機械（横切をする場合に限る。）	ラミナの繊維方向に直交して、正しく切断できるものであること。																												
縦切機械（縦切をする場合に限る。）	ラミナの繊維方向に平行して、正しく切断できるものであること。																												
自動かん盤（表面を切削する場合に限る。）	自動送りかん盤機械であって、ラミナの表面を平滑に切削できるものであること。																												
等級区分機（等級区分機によってラミナの曲げヤング係数を測定する場合に限る。）	ラミナの曲げヤング係数を測定することによって、これを選別できるものであること。																												
接合装置（ひき板及び小角材の長さ方向の接合部を平滑に切削し、接着剤を用いる場合に限る。）	ひき板及び小角材の長さ方向の接合部を平滑に切削し、接着剤を用いて、相互に正しく接着できるものであること。																												
接着剤塗布装置	接着剤を均一に塗布できるものであること。																												

圧縮装置	接着剤を塗布して積層されたプライ相互間の接着層又はひき板、小角材又はラミナ同士の幅はぎ接着層に各部均等に圧縮圧力を加え、接着層が十分に硬化するまで圧縮圧力を維持できるものであり、かつ、その圧力を正しく表示できる器具（圧力計等）を有するものであること。
硬化装置	接着剤が硬化するために必要な温度を接着層各部に均一に加えることのできるものであること。
仕上げ加工装置（仕上げ加工する場合に限る。）	直交集成板の表面を正しく仕上げ加工できるものであること。
目止め機（塗装をする場合であって目止めをするときに限る。）	均一に目止めができるものであること。
塗装機（塗装する場合に限る。）	均一に塗装ができるものであること。
乾燥装置（塗装をする場合であって乾燥をするときに限る。）	表面を均一に乾燥することができるものであること。

2.1.1.2 保管施設

製品、プライ及びラミナの保管施設は、適当な広さであり、これらの品質を保持できるものでなければならない。

2.1.1.3 品質管理施設

次の機械器具を備えている適当な広さの施設でなければならない。

- a) ノギスその他の計量器具
- b) 第三者機関による検定証明を定期的に取得しない場合にあつては、1)に規定するもののほか、次に掲げる機械器具。ただし、2)に掲げる機械器具にあつては煮沸剝離試験を行う場合、3)に掲げる機械器具にあつては、減圧加圧剝離試験を行う場合、5)に掲げる機械器具にあつては曲げ試験を行う場合、6)に掲げる機械器具にあつてはせん断試験を行う場合、8)に掲げる機械器具にあつては引張り試験を行う場合、9)に掲げる機械器具にあつては等級区分機によってラミナの曲げヤング係数を測定する場合に限る。
 - 1) 恒温乾燥器
 - 2) 煮沸槽（煮沸ができる恒温水槽を含む。）
 - 3) 減圧加圧処理装置
 - 4) ブロックせん断試験装置
 - 5) 曲げ試験機
 - 6) せん断試験装置
 - 7) 曲げ試験装置
 - 8) 引張り試験機
 - 9) 検定用具（等級区分機を検定できるもの）
- c) 第三者機関による検定証明を定期的に取得しない場合であつて、ホルムアルデヒド放散量につい

圧縮装置	接着剤を塗布して積層されたプライ相互間の接着層又はひき板、小角材又はラミナ同士の幅はぎ接着層に各部均等に圧縮圧力を加え、接着層が十分に硬化するまで圧縮圧力を維持できるものであり、かつ、その圧力を正しく表示できる器具（圧力計等）を有するものであること。
硬化装置	接着剤が硬化するために必要な温度を接着層各部に均一に加えることのできるものであること。
仕上げ加工装置（仕上げ加工する場合に限る。）	直交集成板の表面を正しく仕上げ加工できるものであること。
目止め機（塗装をする場合であって目止めをするときに限る。）	均一に目止めができるものであること。
塗装機（塗装する場合に限る。）	均一に塗装ができるものであること。
乾燥装置（塗装をする場合であって乾燥をするときに限る。）	表面を均一に乾燥することができるものであること。

2 保管施設

製品、プライ及びラミナの保管施設は、適当な広さであり、これらの品質を保持できるものであること。

3 品質管理施設

次の機械器具を備えている適当な広さの施設であること。

- (1) ノギスその他の計量器具
- (2) 第三者機関による検定証明を定期的に取得しない場合にあつては、(1)に規定するもののほか、次に掲げる機械器具。ただし、イ)に掲げる機械器具にあつては煮沸剝離試験を行う場合、ウ)に掲げる機械器具にあつては減圧加圧剝離試験を行う場合、オ)に掲げる機械器具にあつては曲げ試験を行う場合、カ)に掲げる機械器具にあつてはせん断試験を行う場合、ク)に掲げる機械器具にあつては引張り試験を行う場合、ケ)に掲げる機械器具にあつては等級区分機によってラミナの曲げヤング係数を測定する場合に限る。
 - ア 恒温乾燥器
 - イ 煮沸槽（煮沸ができる恒温水槽を含む。）
 - ウ 減圧加圧処理装置
 - エ ブロックせん断試験装置
 - オ 曲げ試験機
 - カ せん断試験装置
 - キ 曲げ試験装置
 - ク 引張り試験機
 - ケ 検定用具（等級区分機を検定できるもの）
- (3) 第三者機関による検定証明を定期的に取得しない場合であつて、ホルムアルデヒド放散量

ての表示をする場合にあつては、a)及びb)に規定するもののほか、次に掲げる機械器具

- 1) 分光光度計
- 2) アクリルデシケーター
- 3) 恒温器
- 4) ガラス器具
- 5) 雑器具

2.1.1.4 格付のための施設

- a) 検査結果の評価及び証票の管理のための適当な広さの施設でなければならない。
- b) 格付のための試料の検査を自ら行う場合にあつては、次に掲げる機械器具を備えていなければならない。ただし、6)に掲げる機械器具にあつては煮沸剥離試験を行う場合、7)に掲げる機械器具にあつては減圧加圧剥離試験を行う場合、9)に掲げる機械器具にあつては曲げ試験を行う場合、10)に掲げる機械器具にあつてはせん断試験を行う場合、12)に掲げる機械器具にあつては引張り試験を行う場合に限る。

- 1) 恒温乾燥器
- 2) 天びん（感量が0.1g以下のもの）
- 3) ノギスその他の計量器具
- 4) 長さ計
- 5) 丸のこ盤その他の切削装置
- 6) 煮沸槽（煮沸ができる恒温水槽を含む。）
- 7) 減圧加圧処理装置
- 8) ブロックせん断試験装置
- 9) 曲げ試験機
- 10) せん断試験装置
- 11) 曲げ試験装置
- 12) 引張り試験装置
- 13) ホルムアルデヒド放散量についての表示をする場合にあつては、1)から12)までに規定するもののほか、次に掲げる機械器具
 - 13.1) 分光光度計
 - 13.2) アクリルデシケーター
 - 13.3) 恒温器
 - 13.4) ガラス器具
 - 13.5) 雑器具

2.1.2 品質管理の実施方法

- a) 2.1.3.2の品質管理責任者に、次に掲げる職務を行わせていなければならない。
- 1) 品質管理〔外注管理（製造、検査又は設備の管理の一部を外部の者に行わせている場合における外注先の選定基準、外注内容、外注手続等当該外注に関する管理をいう。）を含む。以下同じ。〕に関する計画の立案及び推進
 - 2) 内部規程の制定、確認及び改廃についての統括
 - 3) 従業員に対する品質管理に関する教育訓練の推進

についての表示をする場合にあつては、(1)及び(2)に規定するもののほか、次に掲げる機械器具

- ア 分光光度計
- イ アクリルデシケーター
- ウ 恒温器
- エ ガラス器具
- オ 雑器具

4 格付のための施設

- (1) 検査結果の評価及び証票の管理のための適当な広さの施設であること。
- (2) 格付のための試料の検査を自ら行う場合にあつては、次に掲げる機械器具を備えていること。ただし、カ)に掲げる機械器具にあつては煮沸剥離試験を行う場合、キ)に掲げる機械器具にあつては減圧加圧剥離試験を行う場合、ケ)に掲げる機械器具にあつては曲げ試験を行う場合、コ)に掲げる機械器具にあつてはせん断試験を行う場合、シ)に掲げる機械器具にあつては引張り試験を行う場合に限る。

- ア 恒温乾燥器
- イ 天びん（感量が0.1g以下のもの）
- ウ ノギスその他の計量器具
- エ 長さ計
- オ 丸のこ盤その他の切削装置
- カ 煮沸槽（煮沸ができる恒温水槽を含む。）
- キ 減圧加圧処理装置
- ク ブロックせん断試験装置
- ケ 曲げ試験機
- コ せん断試験装置
- サ 曲げ試験装置
- シ 引張り試験機
- ス ホルムアルデヒド放散量についての表示をする場合にあつては、ア)からシ)までに規定するもののほか、次に掲げる機械器具
 - 7) 分光光度計
 - 4) アクリルデシケーター
 - 9) 恒温器
 - エ) ガラス器具
 - オ) 雑器具

二 品質管理の実施方法

- 1 三の2に規定する品質管理責任者に、次に掲げる職務を行わせていること。
- (1) 品質管理〔外注管理（製造、検査又は設備の管理の一部を外部の者に行わせている場合における外注先の選定基準、外注内容、外注手続等当該外注に関する管理をいう。）を含む。以下同じ。〕に関する計画の立案及び推進
 - (2) 内部規程の制定、確認及び改廃についての統括
 - (3) 従業員に対する品質管理に関する教育訓練の推進

- 4) 工程に生じた異常、苦情等に関する処置及びその対策に関する指導及び助言
- b) 次に掲げる事項について、内部規程を具体的かつ体系的に整備してなければならない。
- 1) 原材料及び製品並びに各製造工程についての品質管理に関する事項
 - 2) 製造及び品質管理の機械器具の管理に関する事項
 - 3) 工程において発生した不良品及び異常についての処置に関する事項
 - 4) 苦情処理に関する事項
 - 5) 品質管理記録の作成及び保存に関する事項
 - 6) 品質管理の実施状況についての内部監査に関する事項
 - 7) 品質管理の実施状況についての認証機関（登録認証機関又は登録外国認証機関をいう。以下同じ。）による確認等業務の適切な実施に関し必要な事項
- c) 内部規程に基づいて品質管理を適切に行い、その記録を作成及び保存してなければならない。
- d) 品質管理の結果、製品の品質が安定してなければならない。
- e) 内部規程の適切な見直しを定期的に行い、かつ、従業員に十分周知してなければならない。

2.1.3 品質管理を担当する者の能力及び人数

2.1.3.1 品質管理担当者

品質管理担当者として、直交集成板の品質管理に関する知識及び技能を有する者が2人以上置かれてなければならない。

2.1.3.2 品質管理責任者

品質管理責任者として、品質管理担当者の中から、認証機関が指定する講習会（以下「講習会」という。）において直交集成板の品質管理に関する課程を修了した者が1人選任されてなければならない。

2.1.3.3 製品の材面の品質検査担当者

製品の材面の品質検査担当者として、次のいずれにも該当する者が2人以上置かれてなければならない。

- a) 直交集成板の選別に関する知識及び技能を有すること。
- b) 認証機関が指定する研修において直交集成板に係る選別技術を修得していること。

2.1.4 格付の組織及び実施方法

2.1.4.1 格付の組織

格付を行う部門が、製造部門及び営業部門から実質的に独立した組織及び権限を有してなければならない。

2.1.4.2 格付の実施方法

a) 次に掲げる事項について、格付に関する規程（以下「格付規程」という。）を具体的かつ体系的に整備してなければならない。ただし、2)及び5)に掲げる事項については、格付のための試料の検査を自ら行わない場合を除く。

- 1) 試料の抽出に関する事項
- 2) 試料の検査に関する事項
- 3) 格付の表示に関する事項
- 4) 格付後の荷口の出荷又は処分に関する事項
- 5) 格付のための機械器具の管理に関する事項
- 6) 格付記録の作成及び保存に関する事項

- 4) 工程に生じた異常、苦情等に関する処置及びその対策に関する指導及び助言
- 2) 次に掲げる事項について、内部規程を具体的かつ体系的に整備していること。
- 1) 原材料及び製品並びに各製造工程についての品質管理に関する事項
 - 2) 製造及び品質管理の機械器具の管理に関する事項
 - 3) 工程において発生した不良品及び異常についての処置に関する事項
 - 4) 苦情処理に関する事項
 - 5) 品質管理記録の作成及び保存に関する事項
 - 6) 品質管理の実施状況についての内部監査に関する事項
 - 7) 品質管理の実施状況についての認証機関（登録認証機関又は登録外国認証機関をいう。以下同じ。）による確認等業務の適切な実施に関し必要な事項
- 3) 内部規程に基づいて品質管理を適切に行い、その記録を作成及び保存していること。
- 4) 品質管理の結果、製品の品質が安定していること。
- 5) 内部規程の適切な見直しを定期的に行い、かつ、従業員に十分周知することとしていること。

三 品質管理を担当する者の資格及び人数

1 品質管理担当者

品質管理担当者として、直交集成板の製造又は試験研究に1年以上従事した経験を有する者が2人以上置かれていること。

2 品質管理責任者

品質管理責任者として、品質管理担当者の中から、認証機関が指定する講習会（以下「講習会」という。）において直交集成板の品質管理に関する課程を修了した者が1人選任されていること。

3 製品の材面の品質検査担当者

製品の材面の品質検査担当者として、次のいずれにも該当する者が2人以上置かれていること。

- 1) 直交集成板の選別業務に6月以上従事した経験を有すること。
- 2) 認証機関が指定する研修において直交集成板に係る選別技術を修得していること。

四 格付の組織及び実施方法

1 格付の組織

格付を行う部門が、製造部門及び営業部門から実質的に独立した組織及び権限を有すること。

2 格付の実施方法

1) 次に掲げる事項について、格付に関する規程（以下「格付規程」という。）を具体的かつ体系的に整備していること。ただし、イ及びオに掲げる事項については、格付のための試料の検査を自ら行わない場合を除く。

- ア 試料の抽出に関する事項
- イ 試料の検査に関する事項
- ウ 格付の表示に関する事項
- エ 格付後の荷口の出荷又は処分に関する事項
- オ 格付のための機械器具の管理に関する事項
- カ 格付記録の作成及び保存に関する事項

- 7) 格付の実施状況についての内部監査に関する事項
- 8) 格付の実施状況についての認証機関による確認等業務の適切な実施に関し必要な事項
- b) 2.1.5.1 の格付検査担当者を置かず、試料の検査を第三者に委託する場合には、直交集成板の試料の検査を適正に行い得る機械器具及び人員を備える者（役員、構成員又は職員の構成が試料の検査の公正な実施に支障を及ぼすおそれがないものに限る。）と委託契約を締結し、格付のための試料の検査を行わせ、かつ、当該試料の検査の結果に基づき格付を行わなければならない。
- c) 格付規程に基づいて格付及び格付の表示に関する業務を適切に行い、その結果、格付の表示が適切に付されることが確実と認められなければならない。
- 2.1.5 格付を担当する者の能力及び人数**
- 2.1.5.1 格付検査担当者**
- 格付検査担当者として、木材又は木材加工品の検査に関する知識及び技能を有する者であって、認証機関が指定する格付検査担当者技能研修を定期的に受講している者が1人以上置かれていなければならない。
- (削る)
- (削る)
- (削る)
- (削る)
- (削る)
- 2.1.5.2 格付責任者**
- 格付責任者として、格付検査担当者であって、2.1.3.2の品質管理責任者以外の者の中から、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了した者が1人選任されていなければならない。
- 2.1.5.3 格付担当者**
- 格付のための試料の検査を自ら行わない場合にあつては、2.1.5.1の格付検査担当者及び2.1.5.2の格付責任者に代えて、格付担当者として、2.1.3.3 a)及びb)のいずれにも該当する者であつて、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了した者が1人以上置かれていなければならない。
- 2.2 製造工程における検査によって格付を行う場合**
- 2.2.1 製造又は加工、保管、品質管理、格付及び確認検査のための施設**
- 2.2.1.1 製造施設**

- キ 格付の実施状況についての内部監査に関する事項
- ク 格付の実施状況についての認証機関による確認等業務の適切な実施に関し必要な事項
- (2) 五の1の(1)から(5)までのいずれかに該当する者であつて、認証機関が指定する格付検査担当者技能研修を定期的に受講しているものを置かず、試料の検査を第三者に委託する場合には、直交集成板の試料の検査を適正に行い得る機械器具及び人員を備える者（役員、構成員又は職員の構成が試料の検査の公正な実施に支障を及ぼすおそれがないものに限る。）と委託契約を締結し、格付のための試料の検査を行わせ、かつ、当該試料の検査の結果に基づき格付を行うこと。
- (3) 格付規程に基づいて格付及び格付の表示に関する業務を適切に行い、その結果、格付の表示が適切に付されることが確実と認められること。
- 五 格付を担当する者の資格及び人数**
- 1 格付検査担当者**
- 格付検査担当者として、次のいずれかに該当する者であつて、認証機関が指定する格付検査担当者技能研修を定期的に受講しているものが1人以上置かれていること。
- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）による大学若しくは高等専門学校で林業、林産若しくは工業に関する授業科目の単位を取得して卒業した者又はこれらと同等以上の資格を有する者で、木材又は木材加工品の検査又は試験研究に1年以上従事した経験を有するもの
- (2) 学校教育法による高等学校若しくは中等教育学校で林業、林産若しくは工業に関する授業科目の単位を取得して卒業した者又はこれらと同等以上の資格を有する者で、木材又は木材加工品の検査又は試験研究に2年以上従事した経験を有するもの
- (3) (1)に掲げる学校で林業、林産若しくは工業に関する授業科目以外の科目の単位を取得して卒業した者又はこれらと同等以上の資格を有する者で、木材又は木材加工品の検査又は試験研究に2年以上従事した経験を有するもの
- (4) (2)に掲げる学校で林業、林産若しくは工業に関する授業科目以外の科目の単位を取得して卒業した者又はこれらと同等以上の資格を有する者で、木材又は木材加工品の検査又は試験研究に3年以上従事した経験を有するもの
- (5) (1)から(4)までのいずれかに該当する者以外の者で、木材又は木材加工品の検査又は試験研究に5年以上従事した経験を有するもの
- 2 格付責任者**
- 格付責任者として、格付検査担当者であつて、かつ、三の2に規定する品質管理責任者以外の者の中から、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了した者が1人選任されていること。
- 3 格付担当者**
- 格付のための試料の検査を自ら行わない場合にあつては、格付検査担当者及び格付責任者に代えて、格付担当者として、三の3の(1)及び(2)のいずれにも該当するものであつて、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了した者が1人以上置かれていること。
- (新設)

2.1.1.1 に規定する事項に適合していなければならない。

2.2.1.2 保管施設

2.1.1.2 に規定する事項に適合していなければならない。

2.2.1.3 品質管理施設

2.1.1.3 に規定する事項に適合していなければならない。

2.2.1.4 格付のための施設

検査結果の評価及び証票の管理のための適当な広さの施設でなければならない。

2.2.1.5 確認検査のための施設

2.1.1.4 に規定する事項を準用する。この場合において、“検査結果の評価及び証票管理のための適当な広さの施設”とあるのは、“検査結果の評価のための適当な広さの施設”と“格付のための試料の検査”とあるのは“確認検査”と読み替えるものとする。

2.2.2 品質管理の実施方法

a) 2.2.3.2 の品質管理責任者に、次に掲げる職務を行わせていなければならない。

- 1) 品質管理 [外注管理 (製造, 検査又は設備の管理の一部を外部の者に行わせている場合における外注先の選定基準, 外注内容, 外注手続等当該外注に関する管理をいう。) を含む。以下同じ。] に関する計画の立案及び推進**
- 2) 内部規程の制定, 確認及び改廃についての統括**
- 3) 従業員に対する品質管理に関する教育訓練の推進**
- 4) 工程に生じた異常, 苦情等に関する処置及びその対策に関する指導及び助言**

b) 附属書 A に基づき JAS 3079 に規定する測定方法による確認検査を行い, 製品が JAS 3079 に適合することを確認しなければならない。

c) 2.2.3.4 の確認検査担当者を置かずに, 確認検査を第三者に委託する場合にあっては, 確認検査を適正に行い得る機械器具及び人員を備える者 (役員, 構成員又は職員の構成が試料の検査の公正な実施に支障を及ぼす恐れがないものに限る。) と委託契約を締結し, 確認検査を行わせなければならない。

d) 次に掲げる事項について, 内部規程を具体的かつ体系的に整備していなければならない。ただし, 7)及び8)に掲げる事項については, 確認検査を自ら行わない場合を除く。

- 1) 原材料及び製品並びに各製造工程についての品質管理に関する事項 [品質管理の基準 (当該基準を満たして製造することによって, JAS 3079 に規定する品質の基準に適合することが確実となるよう設定したものをいう。) 及び品質管理の基準を満たすかどうかを確認するための検査の方法 (抽出して行う場合にあっては抽出の割合を含む。) を含む。]**
- 2) 製造及び品質管理の機械器具の管理に関する事項**
- 3) 工程において発生した不良品及び異常についての処置に関する事項**
- 4) 苦情処理に関する事項**
- 5) 品質管理記録の作成及び保存に関する事項**
- 6) 確認検査の試料の抽出に関する事項**
- 7) 確認検査の試料の検査に関する事項**
- 8) 確認検査のための機械器具の管理に関する事項**
- 9) 確認検査によって不合格となった場合の原因究明及び是正処置に関する事項**
- 10) 品質管理の実施状況についての内部監査に関する事項**

- 11) 品質管理の実施状況についての認証機関による確認等業務の適切な実施に関し必要な事項
- e) 内部規程に基づいて品質管理を適切に行い、その記録を作成及び保存していなければならない。
- f) 品質管理の結果、製品の品質が安定していなければならない。
- g) 内部規程の適切な見直しを定期的に行い、かつ、従業員に十分周知していなければならない。
- 2.2.3 品質管理を担当する者の能力及び人数**
- 2.2.3.1 品質管理担当者**
- 2.1.3.1 に規定する事項に適合していなければならない。
- 2.2.3.2 品質管理責任者**
- 2.1.3.2 に規定する事項に適合していなければならない。
- 2.2.3.3 製品の材面の品質検査担当者**
- 2.1.3.3 に規定する事項に適合していなければならない。
- 2.2.3.4 確認検査担当者**
- 確認検査を自ら行う場合にあつては、確認検査担当者として、木材又は木材加工品の検査に関する知識及び技能を有する者であつて、認証機関が指定する確認検査担当者技能研修を定期的に受講している者が1人以上置かれていなければならない。
- 2.2.4 格付の組織及び実施方法**
- 2.2.4.1 格付の組織**
- 格付を行う部門が、製造部門及び営業部門から実質的に独立した組織及び権限を有していなければならない。
- 2.2.4.2 格付の実施方法**
- a) 次に掲げる事項について、格付規程を具体的かつ体系的に整備していなければならない。
- 1) 格付の検査に関する事項
 - 2) 格付の表示に関する事項
 - 3) 格付後の荷口の出荷又は処分に関する事項
 - 4) 格付記録の作成及び保存に関する事項
 - 5) 格付の実施状況についての内部監査に関する事項
 - 6) 格付の実施状況についての認証機関による確認等業務の適切な実施に関し必要な事項
- b) 格付規程に基づいて格付及び格付の表示に関する業務を適切に行い、その結果、格付の表示が適切に付されることが確実に認められなければならない。
- 2.2.5 格付を担当する者の能力及び人数**
- 格付担当者として、2.2.3.2 の品質管理責任者以外の者の中から、直交集成板の品質管理に関する知識及び技能を有し、2.1.3.3 a)及びb)のいずれにも該当する者であつて、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了した者が1人以上置かれていなければならない。
- 3 製造業者以外の取扱業者（外国取扱業者を含む。）（以下“非製造業者”という。）の認証の技術的基準**
- 3.1 最終製品における検査によって格付を行う場合**
- 3.1.1 製造又は加工、保管、品質管理及び格付のための施設**
- 2.1.1 に規定する基準に適合していなければならない。
- 3.1.2 品質管理の実施方法**

第二 製造業者以外の取扱業者（外国取扱業者を含む。）（以下「非製造業者」という。）の認証の技術的基準

- 一 製造又は加工、保管、品質管理及び格付のための施設
第一の一に規定する基準に適合していること。
- 二 品質管理の実施方法

- a) 3.1.3.2の品質管理責任者に、非製造業者の認証に係る工場又は事業所（以下“工場等”という。）における2.1.2 a)に規定する職務を行わせていなければならない。
- b) 工場等において、その責任者に、2.1.2 b)から e)までに規定する職務を行わせていなければならない。
- c) 次に掲げる事項について、工場等の管理の実施方法に関する規程（以下“管理規程”という。）を具体的かつ体系的に整備していなければならない。
- 1) 製造又は加工、保管及び品質管理のための施設が 2.1.1に規定する基準に適合していることの確認に関する事項
 - 2) 内部規程の整備及び定期的な見直しが行われていることの確認に関する事項
 - 3) 品質管理担当者又は製品の材面の品質検査担当者を工場等の従業員から指名する場合のこれらの者の監督に関する事項
 - 4) 格付のための試料の検査を自ら行わない場合であって、格付担当者を補佐する者を工場等に置く場合の当該者の監督に関する事項
 - 5) その他工場等の管理に必要な事項
- d) 管理規程の適切な見直しを定期的に行い、かつ、非製造業者の管理部門の従業員に十分周知していなければならない。

3.1.3 品質管理を担当する者の能力及び人数

3.1.3.1 品質管理担当者

品質管理担当者として、直交集成板の品質管理に関する知識及び技能を有する者が工場等に2人以上置かれていなければならない。この場合において、品質管理担当者は、工場等の従業員から指名してもよい。

3.1.3.2 品質管理責任者

品質管理責任者として、直交集成板の品質管理に関する知識及び技能を有する者であって、講習会において直交集成板の品質管理に関する課程を修了した者が非製造業者に1人以上置かれていなければならない。

3.1.3.3 製品の材面の品質検査担当者

製品の材面の品質検査担当者として、2.1.3.3 a)及び b)のいずれにも該当する者が工場等に2人以上置かれていなければならない。この場合において、製品の材面の品質検査担当者は、工場等の従業員から指名してもよい。

3.1.4 格付の組織及び実施方法

2.1.4に規定する基準に適合していなければならない。

3.1.5 格付を担当する者の能力及び人数

3.1.5.1 格付検査担当者

格付検査担当者として、木材又は木材加工品の検査に関する知識及び技能を有する者であって、認証機関が指定する格付検査担当者技能研修を定期的受講している者が非製造業者に1人以上置かれていなければならない。

3.1.5.2 格付責任者

格付責任者として、格付検査担当者であって、かつ、3.1.3.2の品質管理責任者以外の者の中から、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了した者が1人選任されていなければならない。ただし、工場等において格付の一部（試料の抽出等）を行う必要があると認められるときは、当該工

- 1 三の2に規定する品質管理責任者に、非製造業者の認証に係る工場又は事業所（以下“工場等”という。）における第一の二の1に規定する職務を行わせていること。
- 2 工場等において、その責任者に、第一の二の2から5までに規定する職務を行わせていること。
- 3 次に掲げる事項について、工場等の管理の実施方法に関する規程（以下“管理規程”という。）を具体的かつ体系的に整備していること。
 - (1) 製造又は加工、保管及び品質管理のための施設が第一の一に規定する基準に適合していることの確認に関する事項
 - (2) 内部規程の整備及び定期的な見直しが行われていることの確認に関する事項
 - (3) 品質管理担当者又は製品の材面の品質検査担当者を工場等の従業員から指名する場合のこれらの者の監督に関する事項
 - (4) 格付のための試料の検査を自ら行わない場合であって、格付担当者を補佐する者を工場等に置く場合の当該者の監督に関する事項
 - (5) その他工場等の管理に必要な事項
- 4 管理規程の適切な見直しを定期的に行い、かつ、非製造業者の管理部門の従業員に十分周知することとしていること。

三 品質管理を担当する者の資格及び人数

1 品質管理担当者

品質管理担当者として、直交集成板の製造又は試験研究に1年以上従事した経験を有する者が工場等に2人以上置かれていること。この場合において、品質管理担当者は、工場等の従業員から指名することができるものとする。

2 品質管理責任者

品質管理責任者として、直交集成板の製造又は試験研究に1年以上従事した経験を有する者であって、講習会において直交集成板の品質管理に関する課程を修了したものが非製造業者に1人以上置かれていること。

3 製品の材面の品質検査担当者

製品の材面の品質検査担当者として、第一の三の3の(1)及び(2)のいずれにも該当する者が工場等に2人以上置かれていること。この場合において、製品の材面の品質検査担当者は、工場等の従業員から指名することができるものとする。

四 格付の組織及び実施方法

第一の四に規定する基準に適合していること。

五 格付を担当する者の資格及び人数

1 格付検査担当者

格付検査担当者として、第一の五の1の(1)から(5)までのいずれかに該当する者であって、認証機関が指定する格付検査担当者技能研修を定期的受講しているものが非製造業者に1人以上置かれていること。

2 格付責任者

格付責任者として、格付検査担当者であって、かつ、三の2に規定する品質管理責任者以外の者の中から、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了した者が1人選任されていること。ただし、工場等において格付の一部（試料の抽出等）を行う必要があると認められるとき

場等に格付責任者を補佐する者として、2.1.3.3 a)及びb)のいずれにも該当する者であって、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了した者が1人以上置かれていなければならない。

3.1.5.3 格付担当者

格付のための試料の検査を自ら行わない場合にあつては、3.1.5.1の格付検査担当者及び3.1.5.2の格付責任者に代えて、格付担当者として、2.1.3.3 a)及びb)のいずれにも該当する者であつて、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了した者が非製造業者に1人以上置かれていなければならない。ただし、工場等において格付の一部（試料の抽出等）を行う必要があると認められるときは、当該工場等に格付担当者を補佐する者として、2.1.3.3 a)及びb)のいずれにも該当する者であつて、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了した者が1人以上置かれていなければならない。

3.2 製造工程における検査によって格付を行う場合

3.2.1 製造又は加工、保管、品質管理、格付及び確認検査のための施設

2.2.1に規定する基準に適合していなければならない。

3.2.2 品質管理の実施方法

a) 3.2.3.2の品質管理責任者に、工場等における2.2.2 a)に規定する職務を行わせていなければならない。

b) 工場等において、その責任者に、2.2.2 b)からg)までに規定する職務を行わせていなければならない。なお、2.2.2 c)中の“2.2.3.4の確認検査担当者”にあつては、“3.2.3.4の確認検査担当者”と読み替える。

c) 次に掲げる事項について、管理規程を具体的かつ体系的に整備していなければならない。

1) 製造又は加工、保管、品質管理及び確認検査のための施設が2.2.1に規定する基準に適合していることの確認に関する事項。ただし、確認検査を自ら行わない場合にあつては、確認検査のための施設を除く。

2) 内部規程の整備及び定期的な見直しが行われていることの確認に関する事項

3) 品質管理担当者又は製品の材面の品質検査担当者を工場等の従業員から指名する場合のこれらの者の監督に関する事項

4) 格付担当者を補佐する者を工場等に置く場合の当該者の監督に関する事項

5) その他工場等の管理に必要な事項

d) 管理規程の適切な見直しを定期的に行い、かつ、非製造業者の管理部門の従業員に十分周知していなければならない。

3.2.3 品質管理を担当する者の能力及び人数

3.2.3.1 品質管理担当者

3.1.3.1に規定する事項に適合していなければならない。

3.2.3.2 品質管理責任者

3.1.3.2に規定する事項に適合していなければならない。

3.2.3.3 製品の材面の品質検査担当者

3.1.3.3に規定する事項に適合していなければならない。

3.2.3.4 確認検査担当者

確認検査を自ら行う場合にあつては、確認検査担当者として、木材又は木材加工品の検査に関する

は、当該工場等に格付責任者を補佐する者として、第一の三の3の(1)及び(2)のいずれにも該当する者であつて、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了したものが1人以上置かれていること。

3 格付担当者

格付のための試料の検査を自ら行わない場合にあつては、格付検査担当者及び格付責任者に代えて、格付担当者として、第一の三の3の(1)及び(2)のいずれにも該当する者であつて、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了したものが非製造業者に1人以上置かれていること。ただし、工場等において格付の一部（試料の抽出等）を行う必要があると認められるときは、工場等に格付担当者を補佐する者として、第一の三の3の(1)及び(2)のいずれにも該当する者であつて、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了したものが1人以上置かれていること。

(新設)

知識及び技能を有する者であって、認証機関が指定する格付検査担当者技能研修を定期的に受講している者が非製造業者に1人以上置かれていなければならない。

3.2.4 格付の組織及び実施方法

2.2.4 に規定する基準に適合していなければならない。

3.2.5 格付を担当する者の能力及び人数

格付担当者として、3.2.3.2 の品質管理責任者以外の者の中から、直交集成板の品質管理に関する知識及び技能を有し、2.1.3.3 a)及びb)のいずれにも該当する者であって、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了した者が非製造業者に1人以上置かれていなければならない。ただし、工場等において格付の一部を行う必要があると認められるときは、当該工場に格付担当者を補佐する者として、2.1.3.3 a)及びb)のいずれにも該当する者であって、講習会において直交集成板の格付に関する課程を修了した者が1人以上置かれていなければならない。

附属書 A

(規定)

確認検査の方法

(新設)

A.1 この検査方法は、直交集成板の確認検査について適用する。

A.2 確認検査を分けて理化学検査（浸せき剥離試験、煮沸剥離試験、減圧加圧剥離試験、ブロックせん断試験、含水率試験、曲げ試験、ホルムアルデヒド放散量試験、せん断試験、ラミナの曲げ B 試験、ラミナの曲げ C 試験又はラミナの引張り試験に係る検査をいう。以下同じ。）及び外面検査（検査であって理化学検査以外のものをいう。以下同じ。）とする。

A.3 理化学検査は、抽出して行う。

A.4 外面検査は、抽出して行う。ただし、抽出して行うことが検査の能率その他の理由によって適当でないと認められる場合には、各個に行ってもよい。

A.5 この検査方法において“試料直交集成板”とは、理化学検査及び外面検査に供する直交集成板をいう。

A.6 この検査方法において“試料ラミナ”とは、理化学検査及び外面検査のうち、ラミナの品質に係る検査に供するラミナをいう。

A.7 確認検査を抽出して行う場合の抽出の割合等及び確認検査に係る判定の基準は、A.8 から A.11 までに定めるところによる。

A.8 第1種検査方法

A.8.1 抽出の割合等

A.8.1.1 理化学検査

A.8.1.1.1 ラミナの品質に係る検査の場合

製造条件が同一と認められ、かつ、ラミナの品質の同一の等級の基準に適合させようとする 10 日以内の製造荷口を検査荷口とし、ラミナの曲げ B 試験、ラミナの曲げ C 試験及びラミナの引張り試験に供する試料ラミナは、1 荷口から表 A.1 の左欄に掲げる枚数に応じた同表の右欄に掲げる枚数を無作為に抽出する。

表 A.1 ーラミナの曲げ B 試験、ラミナの曲げ C 試験及びラミナの引張り試験における抽出枚数

単位 枚

検査荷口のラミナの枚数	試料ラミナの枚数
90 以下	5
91 以上 280 以下	8
281 以上 500 以下	13
501 以上 1 200 以下	20
1 201 以上	32
注記 ラミナの曲げ B 試験に供する目視等級区分ラミナのうち異等級構成の外層又は同一等級構成に用いるものにあつては、右欄に掲げる枚数の 2 倍の枚数を抽出する。	

A.8.1.1.2 A.8.1.1.1 に掲げる場合以外の場合

- a) 製造条件が同一と認められ、かつ、同一の等級及び種別の基準に適合させようとする 10 日分以内の製造荷口を検査荷口とし、浸せき剥離試験、煮沸剥離試験、減圧加圧剥離試験、ブロックせん断試験、含水率試験、曲げ試験及びせん断試験に供する試料直交集成板は、1 荷口から表 A.2 の左欄に掲げる枚数に応じた同表の右欄に掲げる枚数を無作為に抽出する。

表 A.2 ー浸せき剥離試験、煮沸剥離試験、減圧加圧剥離試験、ブロックせん断試験、含水率試験、曲げ試験及びせん断試験における抽出枚数

単位 枚

検査荷口の直交集成板の枚数	試料直交集成板の枚数
200 以下	2
201 以上 500 以下	3
501 以上 1 000 以下	4
1 001 以上 3 000 以下	5
3 001 以上	6
注記 再試験を行う場合は、右欄に掲げる枚数の 2 倍の試料直交集成板を抽出する。	

- b) ホルムアルデヒド放散量試験に供する試料直交集成板は、a) の検査荷口から表 A.3 の左欄に掲げる枚数に応じた同表の右欄に掲げる枚数を無作為に抽出する。

表 A.3 ーホルムアルデヒド放散量試験における抽出枚数

単位 枚

検査荷口の直交集成板の枚数	試料直交集成板の枚数
1 000 以下	2
1 001 以上 2 000 以下	3
2 001 以上 3 000 以下	4
3 001 以上	5

A.8.1.2 外面検査

A.8.1.2.1 ラミナの品質に係る検査の場合

A.8.1.1.1 の検査荷口から表 A.4 の左欄に掲げる枚数に応じた同表の右欄に掲げる枚数の試料ラミナを無作為に抽出する。

表 A.4 - 外面検査におけるラミナの抽出枚数

検査荷口のラミナの枚数	試料ラミナの枚数
50 以下	8
51 以上 90 以下	13
91 以上 150 以下	20
151 以上 280 以下	32
281 以上 500 以下	50
501 以上 1 200 以下	80
1 201 以上 3 200 以下	125
3 201 以上	200

A.8.1.2.2 A.8.1.2.1 に掲げる場合以外の場合

A.8.1.1.2 の検査荷口から表 A.5 の左欄に掲げる枚数に応じた同表の右欄に掲げる枚数の試料直交集成板を無作為に抽出する。

表 A.5 - 外面検査における直交集成板の抽出枚数

検査荷口の直交集成板の枚数	試料直交集成板の枚数
50 以下	8
51 以上 90 以下	13
91 以上 150 以下	20
151 以上 280 以下	32
281 以上 500 以下	50
501 以上	80

A.8.2 確認検査に係る判定の基準

A.8.2.1 理化学検査

A.8.2.1.1 ラミナの品質に係る検査の場合

JAS 3079 の 6.9、6.10 及び 6.11 の試験を行い、その結果、JAS 3079 の 4 に基づいてその検査荷口のラミナの当該試験に係る合格又は不合格を判定する。

A.8.2.1.2 A.8.2.1.1 に掲げる場合以外の場合

JAS 3079 の 6.1 から 6.8 までの試験を行い、その結果、JAS 3079 の 6.1 から 6.5 まで及び 6.8 にあつては JAS 3079 の附属書 A の A.2 に基づいて、JAS 3079 の 6.6 及び 6.7 にあつては、JAS 3079 の 4

に基づいてその検査荷口の直交集成板の当該試験に係る合格又は不合格を判定する。

A.8.2.2 外面検査

A.8.2.2.1 ラミナの品質に係る検査の場合

JAS 3079 の 4 に基づいてその外面検査を行い、その結果、ラミナの品質の各等級の基準に達したものを適合品とし、その適合品の枚数が、表 A.6 の左欄に掲げる試料ラミナの枚数の区分に従い、それぞれ右欄に掲げる適合とする枚数以上であるときは、その検査荷口のラミナをその等級に適合するものとする。

表 A.6 - ラミナの外面検査の適合とする数

試料ラミナの枚数	適合とする枚数
8	7
13	11
20	17
32	27
50	43
80	70
125	111
200	179

単位 枚

A.8.2.2.2 A.8.2.2.1 に掲げる場合以外の場合

JAS 3079 の 4 に基づいてその外面検査を行い、その結果、直交集成板の等級及び種別の基準に達したものを合格品とし、その合格品の枚数が、表 A.7 の左欄に掲げる試料直交集成板の枚数の区分に従い、それぞれ右欄に掲げる合格とする枚数以上であるときは、その検査荷口の直交集成板をその等級及び種別に合格とする。

表 A.7 - 直交集成板の外面検査の合格とする枚数

試料直交集成板の枚数	合格とする枚数
8	7
13	11
20	17
32	27
50	43
80	70

単位 枚

A.9 第 2 種検査方法への移行

A.8 に定めるところによって確認検査を行った結果、その検査荷口の直交集成板が連続して 5 回合格に判定されたときは、その検査荷口に係る工場の製品については、それ以後の抽出の割合等及び確認検査に係る判定の基準は、A.10 に定めるところによるものとする。

A.10 第2種検査方法

A.10.1 抽出の割合等

A.10.1.1 理化学検査

A.8.1.1の規定を準用する。この場合において、A.8.1.1.1中“製造条件”とあるのは“A.9の規定によって確認検査が A.10 に定めるところによることとなったラミナで製造条件”と、“10 日分”とあるのは“30 日分”と、A.8.1.1.2中“製造条件”とあるのは“A.9の規定によって検査が A.10 に定めるところによることとなった直交集成板で製造条件”と、“10 日分”とあるのは“30 日分”と読み替えるものとする。

A.10.1.2 外面検査

A.10.1.2.1 ラミナの品質に係る検査の場合

A.8.1.2.1の規定を準用する。この場合において、A.8.1.2.1中“A.8.1.1.1”とあるのは“A.10.1.1の規定によって読み替えて準用する A.8.1.1.1”と読み替えるものとし、表 A.4 は次のように読み替えるものとする。

	単位 枚
検査荷口のラミナの枚数	試料ラミナの枚数
150 以下	13
151 以上 280 以下	20
281 以上 500 以下	32
501 以上 1 200 以下	50
1 201 以上	80

A.10.1.2.2 A.10.1.2.1 に掲げる場合以外の場合

A.10.1.1の検査荷口から無作為に、8 枚の試料直交集成板を抽出する。

A.10.2 確認検査に係る判定の基準

A.10.2.1 理化学検査

A.8.2.1の規定を準用する。

A.10.2.2 外面検査

A.10.2.2.1 ラミナの品質に係る検査の場合

A.8.2.2.1の規定を準用する。この場合において、表 A.6 は、次のように読み替えるものとする。

	単位 枚
試料ラミナの枚数	適合とする枚数
13	10
20	15
32	25
50	40
80	66

A.10.2.2.2 A.10.2.2.1に掲げる場合以外の場合

JAS 3079 の 4 に基づいてその外面検査を行い、その結果、直交集成板の等級及び種別の基準に達したものを合格品とし、その合格品の枚数が 6 枚以上であるときは、その検査荷口の直交集成板をその等級及び種別に合格とする。

A.11 第 1 種検査方法への移行

A.10 に定めるところによって確認検査を行った結果、その検査荷口の直交集成板が直交集成板の等級及び種別に合格とされない場合が生じたときは、その検査荷口に係る工場の製品については、それ以後の抽出の割合及び確認検査に係る判定の基準は、A.8 に定めるところによるものとする。